

日枝神社 横浜市南区山王町 5-32

主祭神：大山咋命（おおやまくひのみこと）

相殿神：宇迦之御魂命（うがのみたまのみこと）

日枝神社は、古くは山王社・山王大権現・山王宮と称せられましたが、今では「お三の宮」と広く親しまれ崇め称えられています。大山咋命は、近江国(今の滋賀県)の日枝山(比叡山)にお鎮まりになったのが最初で、須佐之男神の御孫、大年神の御子神にして別にその御名を山末之大主神と称しています。神様のお使いが神猿(まさる)であることから「魔が去る」・「何事にも勝る」に通じて厄除け・勝負ごとの御利益を戴いております。加えて「おさん」の伝説から、お産(安産)の神・子宝の神・子供の成長の神としても広く知られています(境内 由緒案内図)。山王鳥居を潜ると直ぐに大きな対の狛犬が迎えてくれる。更に社殿近くにも対の狛犬がいる。庭には数本のご神木があり、秋の例大祭には横浜随一の大神輿による氏子内御巡行は毎年行われ、本祭り(奇数年毎)には大小40基にも及ぶ町内神輿連合渡御が伊勢崎町などを練り歩き、市内屈指の規模を誇ります。



境内にある由緒版



大きなマスクをつけている対の狛犬



社殿近くにも対の狛犬がいる



社殿



ご神木



神楽殿とご神木